

## 令和4(2022)年度 資源評価調査状況報告書(新規拡大種)

ブロック：東北ブロック

エゾイソアイナメ(チゴダラ)

海域	太平洋北部	参加機関	岩手県水産技術センター、水産研究・教育機構 水産資源研究所 底魚資源部、青森県産業技術センター水産総合研究所、宮城県水産技術総合センター、福島県水産資源研究所、茨城県水産試験場
----	-------	------	--

### (1) 調査の概要

- ・水産資源研は生物情報収集調査を実施した
- ・各県は漁獲統計調査を実施した

### (2) データ収集状況

参画機関は資源変動指数に関するデータを収集中。漁獲量データの収集状況は以下のとおり

- ・青森県では2007年以降の漁法別漁獲量を収集済み
- ・岩手県では1994年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
- ・宮城県では2000年以降の日別漁法別漁獲量を収集済み
- ・福島県では1980年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
- ・茨城県では1990年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み

### (3) 生物学的特性

- (1) 分布・回遊：令和3年度評価調査報告書(エゾイソアイナメ)を参照
- (2) 年齢・成長：令和3年度評価調査報告書(エゾイソアイナメ)を参照
- (3) 成熟・産卵：令和3年度評価調査報告書(エゾイソアイナメ)を参照
- (4) 被捕食関係：令和3年度評価調査報告書(エゾイソアイナメ)を参照

### (4) 備考

- ・令和3年度に資源評価調査報告書(エゾイソアイナメ)を作成済み。エゾイソアイナメ *Physiculus maximowiczi* は、チゴダラ *P. japonicus* との間に形態学的及び遺伝学的に顕著な差がなく、現在、日本魚類学会では本種をチゴダラのシノニム(新参異名)としている([https://www.fish-isj.jp/info/list\\_rename.html](https://www.fish-isj.jp/info/list_rename.html)、2019年7月5日時点)。